

令和 元年 第 4 回定例会 一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	斎 藤 實	1. 地域防災について	<p>自然災害が多発する日本で、昨年の西日本豪雨、今年も台風による被害がでたり、豪雨で国、都道府県、町が管理する河川が決壊し甚大な被害がありました。</p> <p>災害を想定し質問することではなく、台風 19 号で甚大な被害があり、水害の教訓をどう生かすべきかで質問いたします。</p> <p>現在町民に配布されている防災マップは、津波浸水予測図であります。洪水ハザードマップもありますが、遊楽部川・落部川浸水想定区域図になっており、改定が必要であります。</p> <p>国の水防法改正では千年に一度の記録的豪雨に備えた改訂が義務づけられました。そこで、次の事項について質問します。</p> <p>(1) 北海道が管理する河川だけでなく、町管理河川、土砂災害の情報も入れた改訂版を策定できないか。</p> <p>(2) 1981 年（昭和 56）9 月 3・4 日の台風 18 号崩れの温帯低気圧により、遊楽部川が氾濫してから 38 年が経っております。</p> <p>過去に水害があったことを、町民の中には忘れていない方ではないかと思えます。町としては、災害から町民の命を守ることを第一に考えなければなりません。</p> <p>机の上で考えるだけでなく、各地域において、どのような問題があるのか多くの町民の方と話し合いながら策定業務にあたってほしいと考えるがどうか。</p> <p>(3) 熊石地域では相沼内川、冷水川、見市川、平田内川、関内川の改修が進んで、大きな被害はでておりませんが、堤防のない所では水が乗り越えた所もありました。</p> <p>最近では川底が高くなっており、少しの雨でも水位が上がっており、記録的豪雨には氾濫する危険度が高くなっています。</p> <p>堤防の工事や川底を下げるのができないか。</p>	町 長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
2	佐藤 智子	<p>1. 河川氾濫に備えて</p> <p>2. 楽しくボランティアに取り組めるように</p>	<p>10月12日の台風19号による豪雨は本州に甚大な被害をもたらした。当町も豪雨による河川氾濫の想定を新たにすることがあるのではないかと。</p> <p>(1) 宮城県の丸森町のように、24時間雨量が500ミリを超えた場合、北海道が管理する遊楽部川や落部川など6つの2級河川、また、100を超える普通河川が氾濫したら浸水の被害はどの程度になるのか。真萩ポンプ場の設備が限界を超えることは無いのか。また、これから建設予定の新幹線駅への影響等シミュレーションは可能か。</p> <p>(2) 今年10月17日付の北海道新聞によると、北海道は自らが管理する道南18河川流域の各市町に、河川氾濫などの災害時に行政や住民が取るべき対応を事前に定めた防災行動計画「タイムライン(TL)」の策定を促しているが、専門職員の不足などもあり、取り組みにばらつきがあるという。</p> <p>タイムラインは河川の水位や気象状況に応じ、行政や住民が取るべき具体的な行動を「時系列」で定めるものである。道南では江差、厚沢部、今金、せたな等で策定されている。昨年7月に北海道から道南12市町に策定が呼びかけられ災害発生の72時間前からのタイムラインのひな形が配布されたことが、作成に取りかかるきっかけとなったようだ。</p> <p>当町には平成27年に策定された「八雲町地域防災計画」があるが、それをさらに具体化するタイムラインの作成については、どのように考えているのか。</p> <p>町政執行方針には必ず「協働のまちづくり」という言葉が出てくる。これは行政と町民が共に力を合わせてまちづくりを行っていくことを意味するキーワードだと思う。それを端的にあらわしているのがボランティア活動ではないだろうか。社会福祉に関すること、環境美化に関すること、災害防災に関すること、その他様々なボランティアが多彩に行われている。町民の自主的な参加によって、豊かなまちづくりが展開されると考える。</p> <p>たとえば、駅前花壇は北海道の土地を借りて、補助金によって花の苗を購入し、建設課が窓口になってボランティアを募集するが、主体は社会教育に所属する「花いっぱい」の方々が中心という複雑な構成になっている。毎週の草取りなど、地道な作業によって美しい花を咲かせ、秋には整地して翌年に備えるという根気のいる仕事に対し、ご苦労さん会など、あつて然るべきと思うが、弁当を買う費用もないという。年々、高齢等に</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

			<p>より携わる人が減れば、せつかくの協働のまちづくりの一角が崩れてしまうのではない か。</p> <p>ボランティア活動を楽しく、なおかつ報われるように、ボランティア基金を創設し使 い勝手の良い財源として活用してはどうか。</p>	
--	--	--	--	--

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
3	三澤公雄	1. 「1000年に一度の豪雨」に備えてあるのだろうか？	<p>今年も異常気象のイメージを濃くした1年だったと私の記憶にはすり込まれてしまった。特に9月、10月と相次ぐ台風の上陸がある。15号による大規模停電が続いた地域、19号による大水害に見舞われた地域など報道する新聞にも強い言葉が踊っていた。</p> <p>「想定外の支流氾濫」「高齢者犠牲 経験通じず」その一方で「台風浸水 想定に一致」もあった。八雲町民においても漠然とした災害への不安が募っている状況ではないだろうか。</p> <p>洪水ハザードマップの見直しの必要性も含め避難のあり方や災害への対策を洗い直すべきだと考える。八雲町の現状認識はどうなっているのか？</p>	町長
		2. 要対策土処分地をどう確保するのか？	<p>「要対策土7割処分地未定」などの見出しの報道を見て読者が受ける印象は「八雲は何やってんだ!？」という負のイメージを持たれると感じている。そもそも要対策土の全体量が明示されたのは平成30年、去年のことだ。</p> <p>膨大で、安全には十二分に配慮しなければならない要対策土には英知を集めなければならない。町長の考えを伺いたい。</p>	町長
		3. ワクチン接種率を上げるために	<p>肺炎球菌ワクチンの接種率がなかなか上がらない。平成28年には国民健康保険加入者を除くと39.6%までは上がっていたが、平成29、30年と33%前半に下がったままである。これまでも努力されているだろうが、更なる工夫が必要ではないだろうか。</p> <p>町長の現状認識と今後について伺いたい。</p>	町長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
4	横田喜世志君	1. 研修牧場について	9月末に総務経済常任委員になり研修牧場構想について質疑をしましたが「青年舎で得た利益は、現在町が行っている補助事業等を青年舎が担っていくよう協議している。町の農業施策に還元する方法は基金創設か財団の設立などあらゆる方法を協議し法人に伝えていきたい。」という状況で進んでいけるのか伺う。	町 長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
5	赤井睦美	<p>1. 誰一人取り残さない八雲町をめざそう！</p> <p>2. 子ども達をネット被害から守ろう！</p>	<p>2015年9月、国連サミットにおいて持続可能な開発目標（SDGs）が採択され、その達成に向けた取り組みが広がっています。北海道では、オール北海道でSDGsを推進するため2018年12月に「北海道SDGs推進ビジョン」を策定し、「世界の中で輝きつづける北海道」とし、世界の中の北海道としての存在感を高めながら、誰一人取り残さない、将来にわたって安心して心豊かに住み続けることが出来る地域社会の形成を目指しています。</p> <p>この中で、地方自治体においては、各種計画の策定や改定にあたり、SDGsの要素を反映、地域における普及活動、関係者への情報提供や活動支援の推進が記載されています。八雲町でも、町長がバッジをつけていることから、積極的に取り組む姿勢を感じます。</p> <p>17の目標の中でも、貧困、質の高い教育、クリーンエネルギー、経済成長、産業の基盤においては、取り組みが進められているように思いますが、まだまだ取り組みが弱いところも感じられます。誰一人取り残さない、将来にわたって安心して心豊かに住み続けることが出来る地域社会の形成を目指し、以下のことも積極的に取り組むべきだと思います。次の件について考えを伺います。</p> <p>障がいの有無にかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、外国人もすべての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合う「ユニバーサルデザイン」をもっと積極的に導入し、多様性に対応する八雲町を目指すべきでないでしょうか。</p> <p>そのためには特に、障がいを抱えた方々、外国の方々、LGBT、難病の方々などへの配慮や取り組みを障害者福祉計画、男女共同参画プラン、子どものいじめ防止条例など関係する計画やプランの中に明記し、町民と共に取り組むべきでないでしょうか。</p> <p>以前から、ネットによる被害に子どもたちが巻き込まれる事件が増えてきています。また、10代20代では、ゲームによる健康被害も取り上げられるようになりました。しかしこのことは学童期に限らず、妊娠中そして出産後すぐにこの問題は始まっていて、母子関係を築く大切な時期に、お母さんの目が赤ちゃんではなくスマホに行っているという残念な姿が見られます。</p> <p>このことから、各関係機関が情報を共有し、正しい使い方、みんなで見守る仕組みを考えていかなければなりません。教育機関だけではなく、今できること、これからすべきことをそれぞれの分野で明確にし、早急に取り組むべきだと思いますが考えを伺います。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長</p>

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
6	宮本雅晴	1. 幼保無償化の拡大について	<p>今年10月より幼児教育・保育の無償化がスタートしました。3歳から5歳児までは無償化になったが、0歳から2歳児の住民税課税世帯も無償化にならないかと保護者の方からよく聞かれます。</p> <p>八雲町は住民税課税世帯で0歳から2歳児までの対象人数が何人いるか、また町独自施策として実施する場合の施策額はどのくらい必要なのか。少子化や子育て支援対策として取り組んでもらいたいと考えるが、町長の考えを伺う。</p>	町長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者